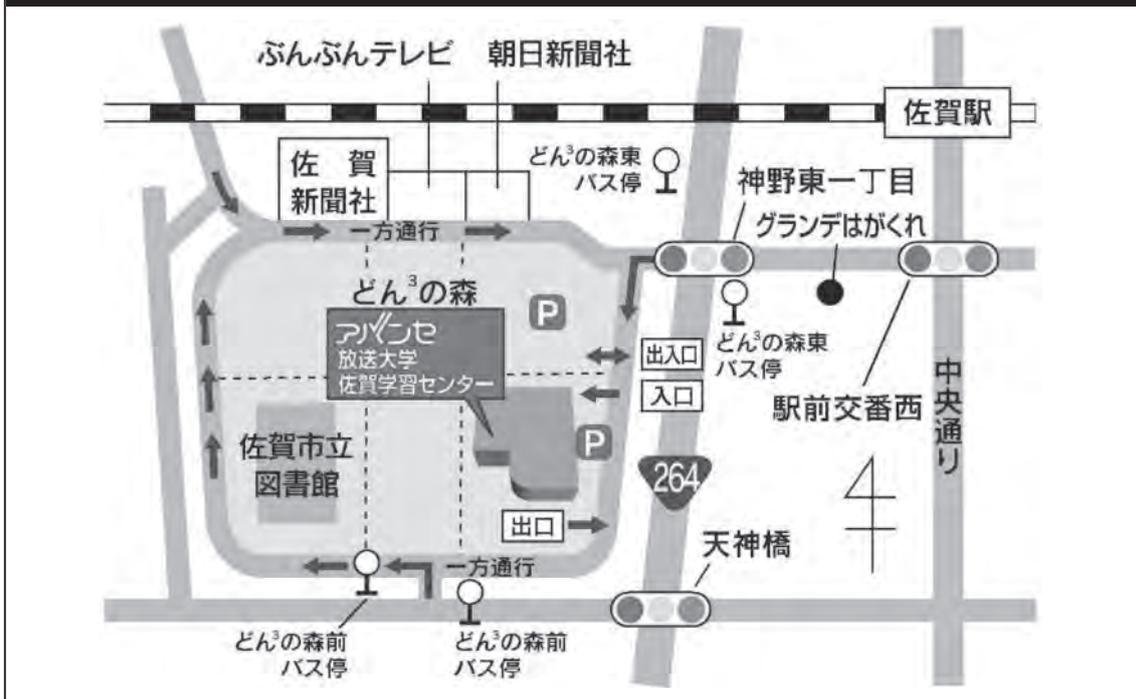


# 佐賀学習センター

(コード：41A)

## 佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11

(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

### 【交通アクセス】

- JR佐賀駅から徒歩10分

JR佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約200メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

- JR佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

### 【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2636360	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他 (特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を3つ (ミューラー・リヤー錯視、対人魅力、情報伝達 (パートレットの系列的再生)) 取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は8コマの授業すべてに出席し、3つの実験全てのレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1 (ミューラー・リヤー錯視) 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート作成 第5回 実験実習2 (対人魅力) 第6回 実験実習2のデータ分析とレポート作成 第7回 実験実習3 (情報伝達) 第8回 実験実習3のデータ分析とレポート作成 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 レポートは、目的・方法・結果・考察を含む執筆をします。	
学習センター (コード)	41A			
クラスコード	K			
科目名	心理学実験 1			
科目区分	専門科目: 心理と教育			
ナンバリング	320			
定員	15名			
担当講師	オカ ジマ イチ ロウ 岡 嶋 一 郎 西九州大学 子ども学部教授	業		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月21日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		概	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室 ※不測の事態発生時は閉講			
				要

科目コード	2645459	授	私たちの身近で暮らす生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。 【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか: 植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性: 植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち: 寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略: 一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1: 地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2: 侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち: 森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから: 私たちにできること 【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください (両日とも雨天の場合には室内学習のみとします)。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(開設科目一覧P.17参照)	
学習センター (コード)	41A			
クラスコード	K			
科目名	身近な自然から考える 生物多様性			
科目区分	専門科目: 自然と環境			
ナンバリング	320			
定員	48名			
担当講師	トク ダ マコト 徳 田 誠 佐賀大学 農学部教授	業		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月21日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		概	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施			
				要

科目コード	2645378	<p>このコースでは、リスニングとライティングの向上を目指します。インターンシップ（就業体験）先で「英語を使う」ことをイメージしながら、簡単な英会話の聞き取りや基本的な文法事項を学びます。また、英文日誌の内容を理解し、学習した英語表現をもとに自分自身についての英作文を作成します。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 Unit 1 Welcome to the "Big Apple"  第2回 Unit 2 What's the Boss Like?  第3回 Unit 3 Masa's First Day on the Job  第4回 Unit 4 Summer Fun  第5回 Unit 5 Hotel Guest Satisfaction  第6回 Unit 6 Brainstorming  第7回 Unit 7 Glad to Be of Service  第8回 Unit 8 Socializing with Co-Workers</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  英語の聴解力、読解力を伸ばすために、積極的に授業に参加し学んでいきましょう。また、英作文の際には和英辞書（電子辞書可）が必携ですので、必ず持参してください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  授業で学習する各Unit1～8の最初のGetting Ready Aに目を通して、知らない語句の意味を確認しておいてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>  教科書および英和・和英辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。</p> <p><b>【教科書】</b>  English Missions! Basic (Robert Hickling・白倉美里／金星堂／¥2,090／ISBN=9784764740716) 教科書は必携ですので、受講者は早めに各書店やインターネットにて注文の上、購入しておいてください。また、同じタイトルのテキストがありますので、購入時には (Basic) であることを、必ず確認してください。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b>  この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	インターンシップの基礎英語	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	21名	
担当講師	ヤマザキ ミホコ 山崎 美穂子 福岡大学非常勤講師	
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645432	<p>佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 佐賀藩の成立  第2回 本藩と支藩  第3回 フィールドワークの事前学習  第4回 フィールドワーク（松原神社、佐嘉神社等）  第5回 城下町の整備と長崎街道  第6回 フィールドワーク（鍋島緞通、長崎街道等）  第7回 フィールドワーク（佐賀市歴史民俗館）  第8回 まとめ、レポート作成</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  佐賀藩の成立と発展の歴史について基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークと組み合わせ理解を深めます。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>  フィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。  雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。</p> <p><b>【教科書】</b>  授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b>  「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	佐賀の歴史と文化1	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 全学教育機構教授	
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀市歴史民俗館 （旧古賀家1号室等） （佐賀県佐賀市柳町3-15） ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645360	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが生活で利用する多くの「情報」は、時空間情報（時間と位置の情報）を属性として持っています。スマートフォンで地図を参照しながら、天気の情報や目的地に関する情報を得たりすることは、多くの人にとって日常的なこととなりました。 この講義では、位置情報と紐付けられたデータを用いて、地図上でのデータの可視化や解析を、演習を通して行っていきます。地図上でデータの可視化や解析を行うソフトウェアのことを「GIS（地理情報システム）」といい、多くの学問分野で用いられていますが、日常的にスマートフォンで見ている地図もその一つです。このGISを用いて、位置を伴う情報の扱い方や地図上での表現方法について、演習を交えながら解説します。
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K	業	【授業テーマ】 第1回 地理空間情報とGIS 第2回 地理空間データの表現 第3回 オープンデータの利用とマッピング 第4回 地理空間情報解析 第5回 テーマを定めた地図の作成 第6回 テーマを定めた地図の作成（つづき） 第7回 テーマを定めた地図の作成（つづき） 第8回 発表とディスカッション
科目名	生活環境情報の表現－GIS入門		
科目区分	基盤科目	業	【学生へのメッセージ】 日常生活空間における位置を伴う情報（地理空間情報）の扱い方や電子地図における活用に関心がある方は、興味深く受講できると思います。データを見たり編集したりする際に、表計算ソフト（マイクロソフトエクセル）を使用しますが、このようなソフトの基本的な操作ができれば、受講にあたりその他の専門知識は必要ありません。オンライン授業の同名の科目と内容が重複する部分がありますが、演習中にその場でサポートや質疑応答が可能です。
ナンバリング	120		
定員	15名	業	【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・ファイル/フォルダの保存や移動方法など、パソコンの基本操作は習得した上で受講してください。 ・ArcGIS Online を使用して演習を行います。このソフトについては当日説明するので事前準備は必須ではありませんが、Webブラウザで利用できるソフトなので、次の方法でどのようなソフトか知ることができます。 1. Webブラウザの準備 次のwebサイトで、対応しているwebブラウザを確認し、いずれかのwebブラウザでアクセスしてください。 <a href="https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/reference/browsers.htm">https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/reference/browsers.htm</a> 2. 基本機能の確認 次のwebサイトにアクセスし、地図の表示、地図レイヤーの選択、地図の縮尺レベルの変更をはじめ、どのようなことができるのか見ることができます。 <a href="https://ej-education.maps.arcgis.com/home/webmap/viewer.html?webmap=f1a4f6ffe04c238aa813bd53c73a054">https://ej-education.maps.arcgis.com/home/webmap/viewer.html?webmap=f1a4f6ffe04c238aa813bd53c73a054</a>
担当講師	カワハラ ヤスヒロ 川原 靖弘 放送大学准教授		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	業	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと当日の発表により行います。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室 ※不測の事態発生時は閉講		
		業	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）の最新バージョンが必要です。 ・Excelが必要で 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		業	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 この授業はパソコンを使用します。授業内でパソコンを使用する場合に、ログイン操作が必要になりますので、あらかじめIDとパスワードを準備しておいて下さい。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2645440	授	約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。各時代に作られた有田焼の魅力を理解し、その受容の歴史をたどると各国の生活様式や文化の特徴を知ることができます。また有田に残る史跡や町並みを見学して生産地のリアルな歴史を体感します。
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K	業	【授業テーマ】 第1回 陶磁器の歴史と文化1（肥前陶磁と国内流通） 第2回 陶磁器の歴史と文化2（海外輸出） 第3回 町内見学（泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館等） 第4回 町内見学（窯跡、街並み保存地区等） 第5回 陶磁器の歴史と文化3（展示室の蒲原コレクション） 第6回 陶磁器の歴史と文化4（展示室の柴田夫妻コレクション） 第7回 陶磁器の歴史と文化5（古伊万里の見方） 第8回 陶磁器の歴史と文化6（産地の伝統）
科目名	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化		
科目区分	専門科目：人間と文化	業	【学生へのメッセージ】 陶磁器は単に美しいものの鑑賞に留まらず、見方が分かれば様々な情報を引き出すことができます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみましょう。
ナンバリング	320		
定員	20名	業	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
担当講師	スズタ ユキオ 鈴木 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	業	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 （佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1） ※不測の事態発生時は閉講		
		業	【受講者が当日用意するもの】 授業1日目はフィールドスタディを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 古伊万里の見方シリーズ1 種類（佐賀県立九州陶磁文化会館／佐賀県立九州陶磁文化会館／¥800）本書は佐賀県立九州陶磁文化会館受付で販売しています。郵送での購入方法はホームページをご覧ください。シリーズは2成形、3装飾、4窯詰め、5形と用途もあります。
		業	【その他（特記事項）】 授業1日目の第3時限は町内の泉山磁石場で集合です。その後第4時限も徒歩で町内の窯跡や街並みを散策します。解散場所は街並みですが、車で参加される方は駐車場の関係で泉山磁石場に戻るようになります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2645386	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他 (特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	金融リテラシーを身につける		
科目区分	導入科目: 社会と産業		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 金融の基礎知識 (日本銀行佐賀事務所・西崎) 第2回 ライフプランと保険 (生命保険協会佐賀県協会・斉藤) 第3回 資産形成のイロハ&ローン・クレジット (佐賀銀行・松本) 第4回 資産形成シミュレーション (第一フロンティア生命・松尾) 第5回 証券業界・証券市場って何だろう (日本証券業協会九州地区協会・山本) 第6回 知っておきたい年金のはなし (日本年金機構佐賀年金事務所・鈴木) 第7回 金融トラブル (財務省福岡財務支局・笠) 第8回 ワークショップ (財務省福岡財務支局佐賀財務事務所・磯谷)
定員	24名		
担当講師	イソ 磯谷 サト シ シ 志 佐賀財務事務所 総務課企画係長 ニシ ヲサキ ジュン イチ 西 崎 淳 一 日本銀行 佐賀事務所・事務所長 サイ トウ カズ ヒロ 斉 藤 数 弘 公益財団法人生命保険文化センター生活情報室調査役 マツ モト ムネ ヒロ 松 本 宗 大 佐賀銀行 営業統括部・調査役 マツ オ アヤ 松 尾 礼 第一フロンティア生命保険(株) Chief Sustainability Officer ヤマ モト アイ 山 本 愛 日本証券業協会九州地区協会 金融・証券インストラクター スズ キ キョウ コ 鈴木 木 京 子 佐賀年金事務所 お客様相談室・年金給付専門職 リュウ テツ ヒロ 笠 哲 浩 福岡財務支局 金融調整官付・上席調査官		
日程実施時間	5月18日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月25日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		
概要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください (タブレット端末、スマートフォンは不可) ※パソコンを使用するのは5月18日 (土) 第4時限のみです。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows, macOS, ChromeOS, Android等) 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他受講生が当日用意するもの 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 持参した端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。また、端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。		

科目コード	2643650	授	古代中国の『詩経』にも「悠悠蒼天 此何人哉」とあるように、人類は古くから身の回りの色への思索を深めてきました。その探求精神は光の物理学、色覚の生理学に結実します。本講義ではその歴史を体験しながら、我々が色とりどりの世界を認知する原理について学びます。また、簡易分光器の作成、スペクトルの測定を行うことで色の背景にある物質の世界への入門も目指します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	実験で学ぶ 色の科学と文化史		
科目区分	導入科目: 自然と環境		
ナンバリング	220	業	【授業テーマ】 第1回 空の蒼色に関する思索の歴史 第2回 実験で学ぶ光の性質 第3回 色覚の生理学 第4回 ついに解けた蒼天の謎 第5回 モノの色とスペクトル 第6回 青いバラはなぜ不可能の象徴なのか 第7回 延喜式にみる日本の色 第8回 蒼い石: ラピスラズリと青色LED
定員	21名		
担当講師	ヤス イケ トモ カズ 安 池 智 一 放送大学教授		
日程実施時間	5月18日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月19日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
概要	【受講者が当日用意するもの】 空はなぜ青いのか? この素朴な疑問を軸に色の科学・生理学を学び、色と人類の関わりを歴史を紐解きます。科学パートは実験を中心としますが、いわゆる“文系”の方の受講も歓迎します。 【受講前の準備学習等】 実習課程の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
要	【受講者が当日用意するもの】 カッターナイフ、カッターマット、セロテープ (2日目のみ) 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 青の物理学 空色の謎をめぐる思索 (ピーター・ベジック著、青木薫訳/岩波書店/¥2,860 / ISBN=978400050111) 参考書ということで必須ではありませんが、特に興味のある方にとっては有意義だと思います。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。		

科目コード	2645424	<p>近年、豪雨災害が頻発化・甚大化してきており、国は流域治水プロジェクトを令和3年度から開始しました。一方、国内の各地にかつての自然災害から学び、工夫を重ね対処法を築き上げてきた歴史があります。本講義では、1日目に「最近の佐賀を中心とした豪雨災害」を振り返ります。2日目はさが水ものがたり館にて「佐賀の伝統的治水技術」をテーマとして、伝統的治水技術の概略を学び、今後の気候変動等を想定した防災・減災対策を一緒に考えます。2日目午後は、さが水ものがたり館並びに嘉瀬川の石井樋を見学し、成富兵庫茂安の水利事業の一端に触れます。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	18名	
担当講師	オオグシ コウイチ ロウ 大串 浩一郎 佐賀大学 理工学部教授	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	5/25(土)は佐賀学習センター アバンセ第2研修室、 5/26(日)はさが水ものがたり館 (佐賀市大和町大字尼寺3247) ※不測の事態発生時は閉講	
授	<p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 令和元年佐賀豪雨災害 第2回 令和2年九州豪雨災害 第3回 令和3年佐賀豪雨災害 第4回 気候変動下の災害リスク 第5回 佐賀平野の伝統的治水技術 第6回 伝統的治水技術の活用と現地見学の案内 第7回 成富兵庫茂安の水利事業を学ぶ(1) 第8回 成富兵庫茂安の水利事業を学ぶ(2)</p>	
業	<p><b>【学生へのメッセージ】</b> 地域の歴史や治水・まちづくりに興味がある方は是非ご参加ください。近年の豪雨災害と江戸初期の佐賀における治水技術に触れ、2日目はさが水ものがたり館と石井樋の見学を実施します。</p>	
概	<p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>	
要	<p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 二日目にさが水ものがたり館とその周辺を散策しますので、動きやすい服と靴を準備してください。小雨でも外に出ますので、雨模様であれば雨具を持参ください。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他(特記事項)】</b> さが水ものがたり館(佐賀市大和町大字尼寺3247)は佐賀駅から北に約5km離れています。駐車場あります。バスで来られる場合は佐賀駅バスセンターからイオンモール佐賀大和まで約15分かかります。イオンモール佐賀大和からさが水ものがたり館までは約500m離れています(徒歩約7分)。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>	

科目コード	2645394	<p>情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	情報科学入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	42名	
担当講師	ホリ ヨシ アキ 堀 良 彰 佐賀大学 総合情報基盤センター教授	
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月2日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
授	<p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データ活用とデータベース 第8回 情報システムの信頼性と安全性</p>	
業	<p><b>【学生へのメッセージ】</b> 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。</p>	
概	<p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p>	
要	<p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>	

科目コード	2645408	授 業 概 要	<p>レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉の視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告  第2回 心因論と遊戯療法  第3回 認知障害説と行動療法  第4回 受容的交流療法・感覚統合療法  第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上）  第6回 太田ステージ・SCERTSモデル  第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇）  第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>  授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p><b>【教科書】</b>  授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	自閉スペクトラム症の理解と支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	マツ ヤマ イク オ 松山 郁夫 佐賀大学 教育学部教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月2日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645416	授 業 概 要	<p>佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましょう。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 穀類（米、小麦など）の科学  第2回 イモ類と豆類の科学  第3回 野菜と果物の科学  第4回 魚介類と藻類の科学  第5回 肉類と卵類の科学  第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発の事例紹介（ヒシ、キクイモなど）  第7回 佐賀の特産品を活かした商品開発をやってみよう！（企画会議）  第8回 佐賀の特産品を活かした商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション）</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましょう。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。</p> <p><b>【教科書】</b>  授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の食べ物学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	ヤス ダ 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月9日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636409	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>2日間で、3種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。</p> <p><b>【授業テーマ】</b></p> <p>第1回 講義：心理学研究法  第2回 実験：「鏡映描写」  第3回 実験のまとめとレポートの作成  第4回 講義：心理学研究法とレポートの書き方  第5回 実験：「ストループ効果」  第6回 実験のまとめとレポート作成  第7回 実験：「囚人のジレンマ」測定  第8回 実験のまとめとレポートの作成</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b></p> <p>「仮説通りの結果が出ない」「イコール」「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基礎知識（t検定・有意水準・帰無仮説など）と表計算ソフトの操作（データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど）を学んできてください。</li> <li>・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</li> <li>OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</li> </ul> <p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。</li> <li>2. OSの指定 Windowsが望ましい。</li> <li>3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。</li> <li>4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</li> </ol> <p><b>【教科書】</b></p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b></p> <p>持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</li> </ul> <p>事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色識別を要する実験課題があります。</li> <li>・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。</li> </ul>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	
日程実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月9日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2636387	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験4つ（印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック）を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施  第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導  第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施  第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導  第5回 アフォーダンスの実施  第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導  第7回 印象形成の実施  第8回 印象形成の解説・レポート指導</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参して下さい。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れていない事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。  OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。  レポートは、後日提出とします。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>  1. 持参する端末  ノートパソコンを持参してください。  2. OSの指定  WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。  3. ソフトのインストール  ・Wordが必要です。  ・Excelが必要です。  4. その他  ・USBメモリーを必ず持参してください。  ・必要な人はマウスを持参してください。  ・ソフトのバージョン指定はありません。  ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。  5. 実験にて必要な物  ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン（1日目1コマ目の実験で口にくわえます）  ・動きやすい服装と靴（2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします）  ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。</p> <p><b>【教科書】</b>  授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b>  認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会、認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）  心理学実験法・レポートの書き方（西口利文、松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378）</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b>  持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。  端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自分で解決する必要がありますのでご注意ください。  なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。  この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。  事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヒダカモトノブ 日高茂暢 佐賀大学 教育学部講師	
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月23日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講	
概要		
授業		

## 学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。  
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細(場所・授業概要・当日用意する物等)をご確認ください。

なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。

○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。

○会場においては、責任者の指示に従ってください。

○交通費、宿泊費(宿泊を要する場合)については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	博物館浴入門	九州産業大学(福岡市東区松香台2-3-1 15号館1階教室および大学美術館)
佐賀	佐賀の歴史と文化1	佐賀市歴史民俗館(旧古賀家1号室等)(佐賀県佐賀市柳町3-15)
	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)
	佐賀の豪雨災害と伝統的治水技術	5/25(土)は佐賀学習センター アバンセ第2研修室、5/26(日)はさが水ものがたり館(佐賀市大和町大字尼寺3247)
長崎	映像を支える音楽作曲家たち	長崎大学 長崎創楽堂
	五島灘洋上実習	長崎大学附属練習船長崎丸
熊本	生活環境と水	熊本学習センター講義室1および熊本博物館(2日目1・2限)(熊本市中央区古京町3-2)
	分子生物学実験:DNAの解析	熊本学習センター講義室1および熊本大学理学部1号館2階生物実習室(熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)
大分	大分の災害と防災	大分学習センター及び日田市天ヶ瀬温泉街(2日目)
	SDGsにおける生物多様性戦略	大分学習センター及び別府大学周辺
宮崎	AIの基礎から応用まで	宮崎大学木花キャンパス(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	身の回りのあっと驚く化学体験3	
	方言とコミュニケーション	南九州大学宮崎キャンパス(宮崎市霧島5丁目1番地2)
	地域経済の現状と展望	宮崎サザンビューティ専門学校501号室(宮崎市老松2-1-17)
	住まいの基本と近代建築	
	食と健康:食品の機能を活かす	
	心理学実験2	宮崎県婦人会館3F「さくら」(宮崎市旭1-3-10)
	健康志向の運動実践	宮崎大学清武キャンパス総合教育研究棟(宮崎市清武町木原5200番地)
海洋生物学実習	宮崎大学農学部フィールド科学教育研究センター・延岡フィールド(水産実験所)(延岡市赤水町376-6)	
鹿児島	『源氏物語』の正編を知る	かごしま県民交流センター大研修室第3(東棟4階)(鹿児島市山下町14-50)
	社会保障のしくみと法	
	老年期の健康科学	
	薩摩焼の考古学	
	絵の見方・描き方	鹿児島学習センター講義室(西棟4階)、かごしま県民交流センター絵画制作室(東棟5階)(鹿児島市山下町14-50)
	心理学研究法の基礎	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)
	奄美から見た島嶼の人と自然	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)、奄美大島世界遺産センター(奄美市住用町石原467番地1)、黒潮の森マングローブパーク(奄美市住用町石原478番地)
	鹿児島湾洋上実習	鹿児島大学水産学部附属練習船かごしま丸(鹿児島市南栄5丁目29)
沖縄	大人の食育	沖縄学習センター小講義室、一日目3時限目から琉球大学教育学部307室